

# モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン 2019の キービジュアルが決定！

2019年10月12日（土）、13日（日）、14日（月・祝）に、東京・日本橋三井ホールでおこなわれる『モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン 2019』。そのシンボルとなる“キービジュアル”の即興制作（ライブ・ペインティング）が、去る3月29日（金）に東京・日本橋 福徳の森にて開催。以下の通り完成した。



今回のキービジュアルを手がけたのは、企業とのコラボ作品も多く、音楽との親和性も高いペインティングアーティストのNOVOL（注1）。彼がライブ・ペインティングをおこなうにあたり、音楽的なインスピレーションを与えるのは、日本を代表するフリューゲルホーン＆ボーカルのTOKUと、オルケスタ・デ・ラ・ルスなどで活躍するピアニストの斎藤タカヤ。彼らのセッションをひと目見ようと多くのお客さんが詰めかけた。

仕事を終えたビジネスパーソンや通りすがりの人たちも、音楽の音色に誘われるように集まり、足を止めてペインティングの様様をスマホでパシャリ。最初はただのカラフルなキャンバスだったが、NOVOLが黒のインクを手にし始めると、魔法のようにジャズマンの輪郭が浮かび上がり始める。最後にジャズ・スタンダードの「Just Friends」が演奏され、ライブ・ペインティングは終了。さまざまな音楽が彩る祭典 — モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパンが最高の3日間になることを予感させるカラフルなキービジュアルが仕上がった。

なお、出演ミュージシャンの第1弾ラインナップは5月に発表を予定している。

注1：1979年生まれのパインティングアーティスト。2002年、JAZZに衝撃を受けて独学にて絵を描き始め、2007年より本格的にアーティスト活動を開始。CD/LPジャケットをはじめ、フライヤーやポスター、音楽関連のデザインワークを数多く手掛ける。また、アパレル企業や雑誌へのイラストレーション提供、テレビ番組のOP映像など、多彩なコラボレーションも展開。2017年、活動10周年を迎え、自身初となる作品集『ten.』を出版。  
[www.novol.jp](http://www.novol.jp)

## ■本件に関するお問い合わせ先

モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン2019実行委員会  
担当者名：大伴（オオトモ）

Email：[info@mifj.jp](mailto:info@mifj.jp)



## モントルー・ジャズ・フェスティバルとは？

一方の「モントルー」は、スイス・レマン湖のほとりにあるヨーロッパ有数のリゾート地。その景観の美しさから「天国のリビエラ」という名称でも知られる風光明媚な観光地です。

音楽プロデューサー、クロード・ノブスの呼びかけでモントルー・ジャズ・フェスティバルがスタートしたのが1967年のこと。以降50年以上の間にクインシー・ジョーンズ、マイルス・デイヴィス、ビル・エヴァンスなどのトップアーティストが出演し、その名を知らしめてきました。現在は25万人以上の観客を集める世界有数のジャズ・フェスティバルにまで成長しました。



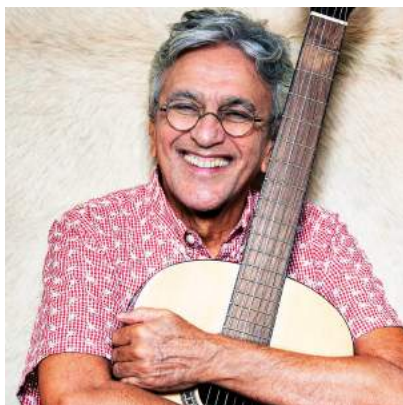
## モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパンとは？

スイス本国のスピリットを継承しながら、日本独自の企画として2015年からスタート。東京・恵比寿を舞台にファラオ・サンダースやカエターノ・ヴェローゾ、八代亜紀、菊地成孔など、各国からヴァラエティに富んだミュージシャンが出演してきた。

2019年からは東京・日本橋三井ホールをメイン・ステージとして装いも新たに開催！ 話題の最新スポットをどのような音楽が彩るのか・・・詳細は5月の第1弾アーティスト発表を楽しみにしてほしい。



ファラオ・サンダース



カエターノ・ヴェローゾ



八代亜紀



菊地成孔

## モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン 2019 開催概要

日程：2019年10月12日(土)、13日(日)、14日(月・祝)

会場：東京・日本橋三井ホール、他

出演者：5月発表予定

<http://www.montreuxjazz.jp/>

### ■本件に関するお問い合わせ先

モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン2019実行委員会

担当者名：大伴（オオトモ）

Email：[info@mjfi.jp](mailto:info@mjfi.jp)